

デジタル田園都市 × 官民連携

～ 更別村SUPER VILLAGE 構想 ～

北海道更別村
スーパービレッジ推進室長
企画政策課 参事 今野雅裕

2022.10.4

更別村の概要

- 日高山脈の東側、北海道・十勝地方の中南部に位置。
- 北は十勝の中心市・帯広市に隣接している。
- 帯広市まで車で約40分。とち帯広空港まで約10分。
- 総面積176.90km²。多くは平坦な土地。
- 総面積のうち、耕地面積が125.73km²(約71%)
山林11.19km²、原野・雑種地7.61km²など
- 2022年4月末現在の人口は3,170人、世帯数は1,368世帯。
- うち農家戸数は約220戸
- 大陸性の気候で、年平均5~6度、年間降水量は1,200mm前後。
降雪量は200cmと比較的多く、多いときには1回に50cmの積雪となる。
夏は寒暖の差が大きく、冬は日照時間に恵まれている。
- 冷涼で寒暖の差が大きい更別村は、農業に最適で、広大な土地を生かした大規模農業は、
農家一戸当たりの経営面積が約50ha、トラクター所有台数は約6台。いずれも日本最大規模。
- 主要作物:小麦、てん菜(砂糖大根)、豆類、ジャガイモ、生乳等。
- 食糧自給率6,800%。



しかし・・・

農家戸数は減少傾向、農作業オペレータの慢性的不足
未利用遊休地(雑種地・牧草地)の利活用が課題
先進技術の普及・拡大が進まない
人材・ノウハウが不足



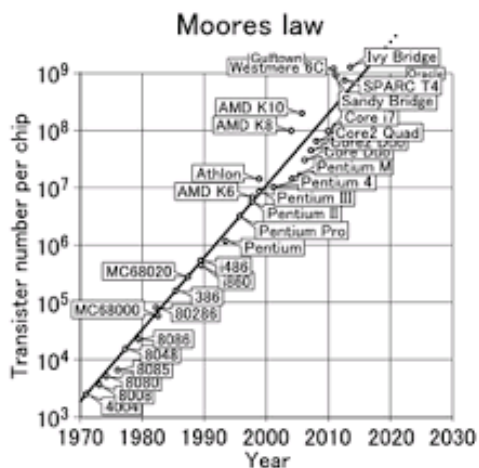
農業(基幹産業)が衰退
つまり“むら”の崩壊、
行政の崩壊が目前に迫っている！

更別村の地方創生は課題解決から

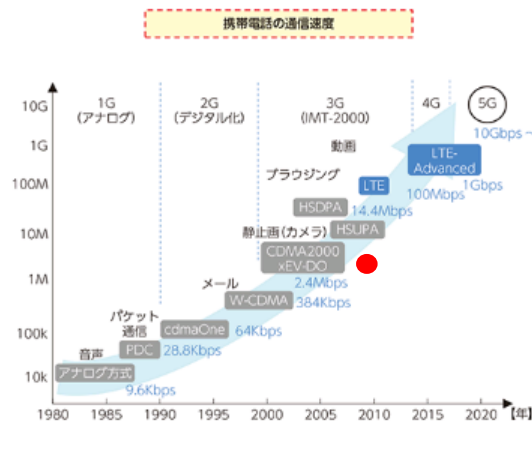
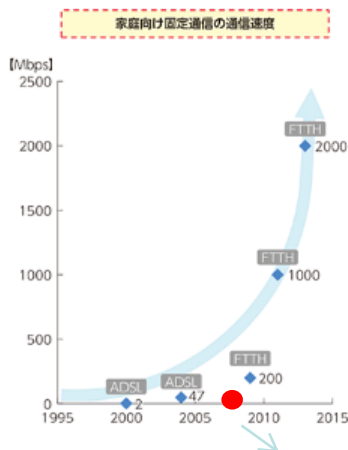
第6期更別村総合計画 における課題(抜粋)

～住みたい 住み続けたいまち～になるために10年後を創造していく

2、情報通信技術(ICT)が急速に進み、取り残されてしまいます。 (情報の過疎)(ICT担い手不足)



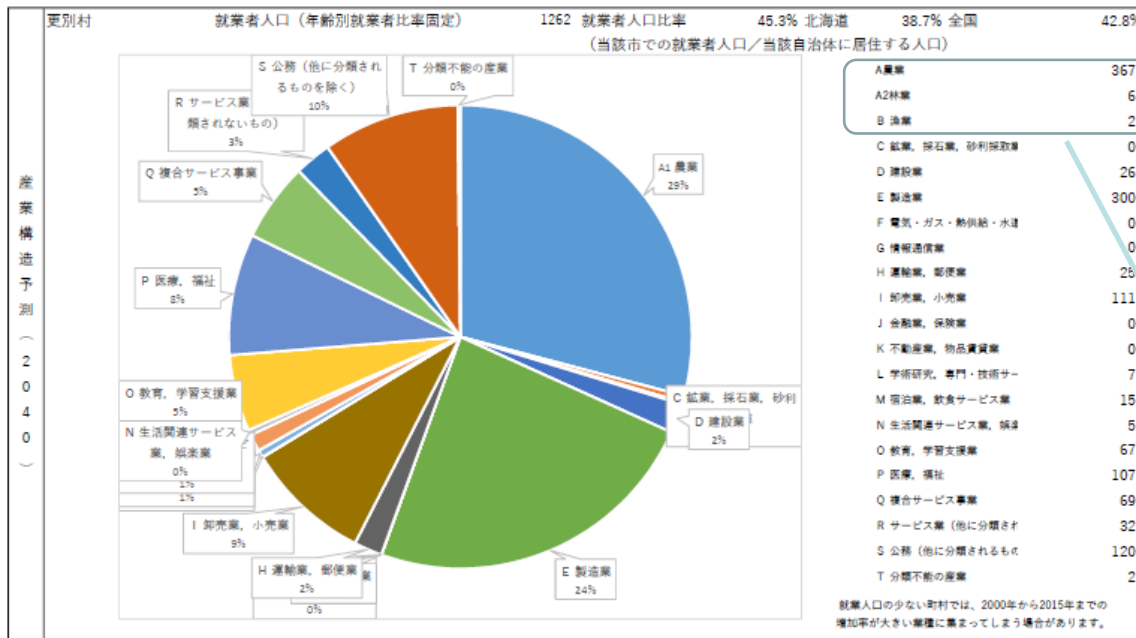
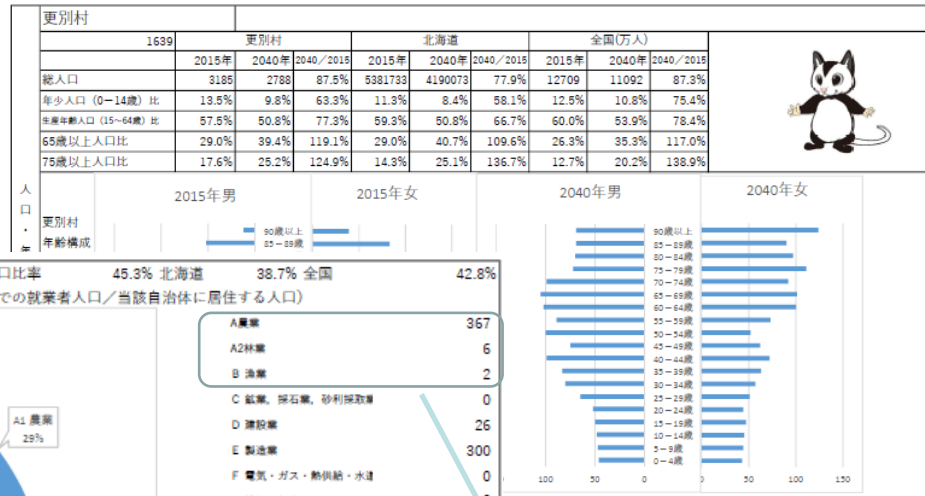
ムーアの法則



更別市街地はFTTH(光)
農村地域 FWA(1mbps)
ADSLのほうが高速。3Gで不安定な場所もあった

人口減少に伴う産業人口予測の危機感

※参考
 未来カルテより
<http://opossum.jp.org/>



一次産業の抜粋

	2015年 ⇒	2040年
就業	1967人	1262人
農業	847人	367人
林業	17人	6人
漁業	3人	2人

第6期更別村総合計画 における課題(抜粋) ～住みたい 住み続けたいまち ～になるために10年後を創造していく

3、自然災害による被害が増えています (2016台風10号被害を教訓に命、財産を守り経済に影響を出さない)



十勝清水

H28災害

更別村は岩盤が強く地震に強い。
しかし、台風、特に東風、大雨に弱い。
農林業の外的要因になっている。



新得町



上更別明渠排水事業ができないと
スマート農業も進まない



さらべつ村に関係するすべての
「ひと」に課題共有の認識がない

更別村がこんなことになっているんだ

郷土愛、意識付けが必要

住民、地元企業らのコンセンサスを得る！

たかさんの住民説明会開催

日付	概要	参加者数
2020. 4. 27	職員説明会（内閣府スーパーシティ構想について）各種の事業について、省庁ロードマップ、スーパーシティ構想内容説明	80名
2020. 7. 9	議会全員協議会（スーパーシティ構想の事業提案について）提案内容について説明	8名
2020. 10. 21	農家とJAへのスーパーシティ説明とICT活用についての企業と村ヒアリング	1名
2020. 10. 21	十勝スピードウェイへのスーパーシティ説明と課題ICT活用についての企業と村ヒアリング	3名
2020. 10. 21	商工会へのスーパーシティ説明と課題ICT活用についての企業と村ヒアリング	1名
2020. 10. 21	農協女性部へのスーパーシティ説明と生活課題ICT活用についての企業と村ヒアリング	10名
2020. 10. 21	村内有識者へのスーパーシティ説明と生活課題ICT活用についての企業と村ヒアリング	1名
2020. 10. 24	スーパーシティフォーラム（片山さつき先生、東京大学平藤雅之先生講演、関連企業展示）	320名
2020. 11. 17	夢大地さらべつ推進委員会（村の諮問機関へのスーパーシティ構想の取組内容について説明）	13名
2020. 11. 24	NPO法人サラリ役員会での村長講話（スーパーシティ構想の取組内容について）	5名
2020. 11. 25	議会全員協議会（スーパーシティ構想の取組内容について）	8名
2020. 11. 25	商工会役員会での村長講話（スーパーシティ構想の取組内容について）	10名
2020. 11. 30	高齢者へのお困り案件の企業とのヒアリング（スーパーシティ構想の取組内容説明含む）	10名
2020. 12. 1	行政区長（町内会代表者）会議での説明（スーパーシティ構想の取組内容説明含む）	24名
2020. 12. 10	広報さらべつでのスーパーシティ構想の取組内容揭示	—
2020. 12. 18	更別村農業委員会議での説明（スーパーシティ構想の取組内容説明含む）	12名
2020. 12. 22	JA更別村理事会での村長講話（スーパーシティ構想の取組内容説明含む）	25名
2020. 12. 22	更別村教育委員会議での村長講話（スーパーシティ構想の取組内容説明含む）	9名
2021. 1. 13	南更別行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	8名
2021. 1. 14	更別東・北更別行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	28名
2021. 1. 15	旭行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	20名
2021. 1. 18	平和行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	13名
2021. 1. 19	勢雄行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	23名
2021. 1. 20	上更別南行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	13名
2021. 1. 21	東栄行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	12名
2021. 1. 24	更別行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	22名
2021. 1. 26	昭和行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	9名
2021. 1. 28	更南・上更別行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	22名
2021. 1. 29	香川行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	8名
2021. 2. 1	更別市街行政区でのスーパーシティ構想の住民向け事業内容説明（村長より）	8名
2021. 2. 2	議会全員協議会でのスーパーシティ構想の内容説明（村長より）	8名
2021. 2. 10	高齢者学級でのスーパーシティ構想の内容説明（村長より）	20名
2021. 2. 16～18	スーパーシティ構想職員研修会	85名
2021. 2. 19～2021. 3. 11	更別村スーパーシティ構想（案）についてパブリックコメントの実施（21日間）8件の意見を受領	8件
2021. 2. 24	北海道経済連合会Society5.0WG 更別村スーパーシティ特別公演	27名
2021. 3. 1	更別村スーパーシティ構想村民説明会	23名
2021. 3. 17	高齢者（ターゲット495名）からの構想に関する同意書について依頼・回収	347名
2021. 2. 19～2021. 3. 11	更別村スーパーシティ構想（案）についてパブリックコメントの実施（21日間）8件の意見を受領	8名
2021. 4. 14	更別村スーパーシティ構想デジタルデバイト対策勉強会	17名



課題解決をデジタル化で！

動き始めたスーパービレッジ構想

100歳までワクワク

世代を超えてみんなであつなかり合う

幸せな地域 更別村



事業概要(1/2) 【更別村SUPER VILLAGE構想】

実施地域	北海道更別村	事業費	753,373千円
実施主体	更別村、更別村SUPER VILLAGE協議会		
事業概要	<p>更別村は農業で生きてきた村です。昔は機械化が未発達で苦勞も多かった分、農業を支えるための人と人とのつながりも強かった。しかし、機械化が進んだおかげで、農業生産性は維持できていますが、逆に、子ども達が村から離れ、高齢者世帯が増え、人とのつながりも薄れ、村民の生活への不安はかつてより増えています。</p> <p>本事業では、カラオケ、料理教室など高齢者が生きがいを発見でき、好きなことを楽しめるサービスや健康サービスをコミュニティナースのサポートと一体的に提供。またこれらを支える様々な機能を持ったデジタル公民館を整備します。これらのサービスを、更別型ベーシック・インフラサービスとして月額3,980円の定額で提供し、人々の繋がりや回復と、村民の健康の向上を図ります。また同時に、最先端のデジタルの力を借りて、高齢者でも楽しく元気に続けられるスマート農業を実現し、暮らしと仕事の両面から、高齢者が最も輝く街を実現します。</p>		

取組内容

高齢者が100歳世代まで生きがいを持って楽しく過ごせるために必要な基本サービスを、“(同)更別ソーシャルベンチャー”を村民の協力を得て設立し、提供します。

具体的には、“カラオケ”、“料理教室”など、それぞれの高齢者が生きがいを発見でき、好きな趣味の時間を好きなだけ過ごせる「**趣味系サービス**」と「**健康系サービス**（シニア向け・現役向け）」、さらには、いつでもどこでも医療サービスのサポートを受けられる「**医療系サービス**」の**3つの基本サービスとそれを支えるコミュニティナースのサービス（以下「ひやくワクサービス」という）を提供。**

また、これら“ひやくワクサービス”を支える場として、ボイストレーニングルームや料理教室用の施設などみんなが繋がる交流の場や、新たなサービスを生み出すインキュベーション、さらには、オンラインによる各種予約、行政サービス機能などを備えた「**デジタル公民館**」を整備。“デジタル公民館”では、高齢者でもこれらのサービスを円滑に利用できるように、村内の移動サービスや無料スマホ貸出サービス、フリーWi-Fiサービスを一体的に提供し、村内のデジタル化をサポートします。

“ひやくワクサービス”と“デジタル公民館”の提供をあわせて、“(同)更別ソーシャルベンチャー”が「**更別型ベーシック・インフラサービス**」として**月額料金額3,980円で提供し**全国展開を図ります。

なお、本交付金事業では、“更別型ベーシック・インフラサービス”提供のために整備する、データ連携基盤、村内移動サービス、無料スマホ貸出、フリーWi-Fiサービスなどのデジタル基盤を、暮らしだけでなく農業にも活用し、高齢者でも元気に働ける高付加価値型農業を実現するための「**超なまら本気スマート農業**」の実現を同時に図ります。これにより、“生きがい（暮らし）”と“活躍（仕事）”の両面から、**日本で最もシニアが元気に輝く農村**の実現を目指します。

更別型ベーシック・インフラサービス 月額3,980円

ひやくワクサービス

趣味系

- 歌って踊って
- 大人のたまり場
- 更別村民講座
- 写真・動画共有アプリ

健康系

- 更別健康アプリ
- 楽しく運動
- ジム使い放題
- あんしん見守り
- チャットコーチング
- 温泉・サウナ使い放題

医療系

- すぐそこ専門医
- AIかんたん病院予約
- 医療情報おあずかり
- ひやくワク予防医療

超なまら本気スマート農業

- 自動化農業
- 収穫期お知らせ
- フードエコシステム
- 次世代と高齢者のアグリ人材確保と育成

デジタル公民館

らくらくサービス予約 さくさく行政届出 すいすい村内移動 情報センター 無料スマホ貸出 Well-being指標の収集・分析 インキュベーション 共助モデル市街地フリーWi-Fi デジタルサポート データ連携基盤管理

更別型ベーシック・インフラサービス

3,980円/月

更別ソーシャル・ベンチャー 提供

ひやくワクサービス

超なまら本気スマート農業

医療系

すぐそ専門医



趣味系

歌って踊って



写真・動画共有アプリ



健康系

楽しく運動



更別健康アプリ



コミュニティナース



生きがい (暮らし)

活躍の場 (仕事)

自動化農業



収穫期お知らせ



コミュニティナース



次世代と高齢者のアグリ人材確保と育成



フードエコシステム



大豆ミート工場 (A型障がい者就労施設)



公益社団法人 青年海外協力協会 【農水省補助事業】

デジタル公民館

更別街なか交流館 ma・na・ca



奈良県立医科大学 京都大学医学部 サテライトキャンパス



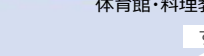
サテライトオフィス (R4テレワーク交付金で整備)



福祉の里・診療所



体育館・料理教室



デジタルサポート



情報センター



インキュベーション



Well-being指標



ららくサービス予約 ひやくワクサービス 利用/交流の場



さくさく行政届出



すいすい村内移動



ロボット配送



農村地域予約 運行型タクシー



共助モデル更別フリー Wi-Fi



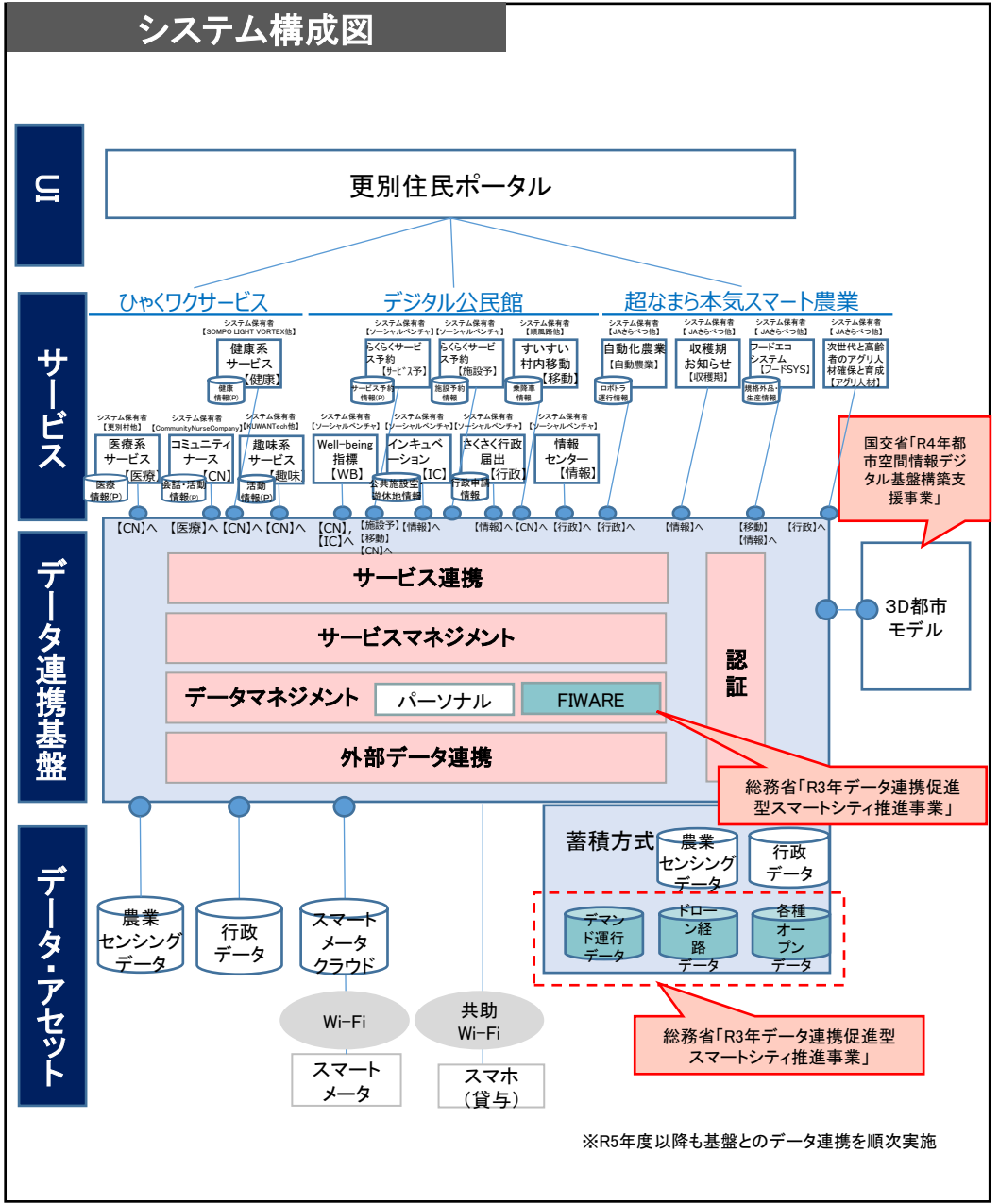
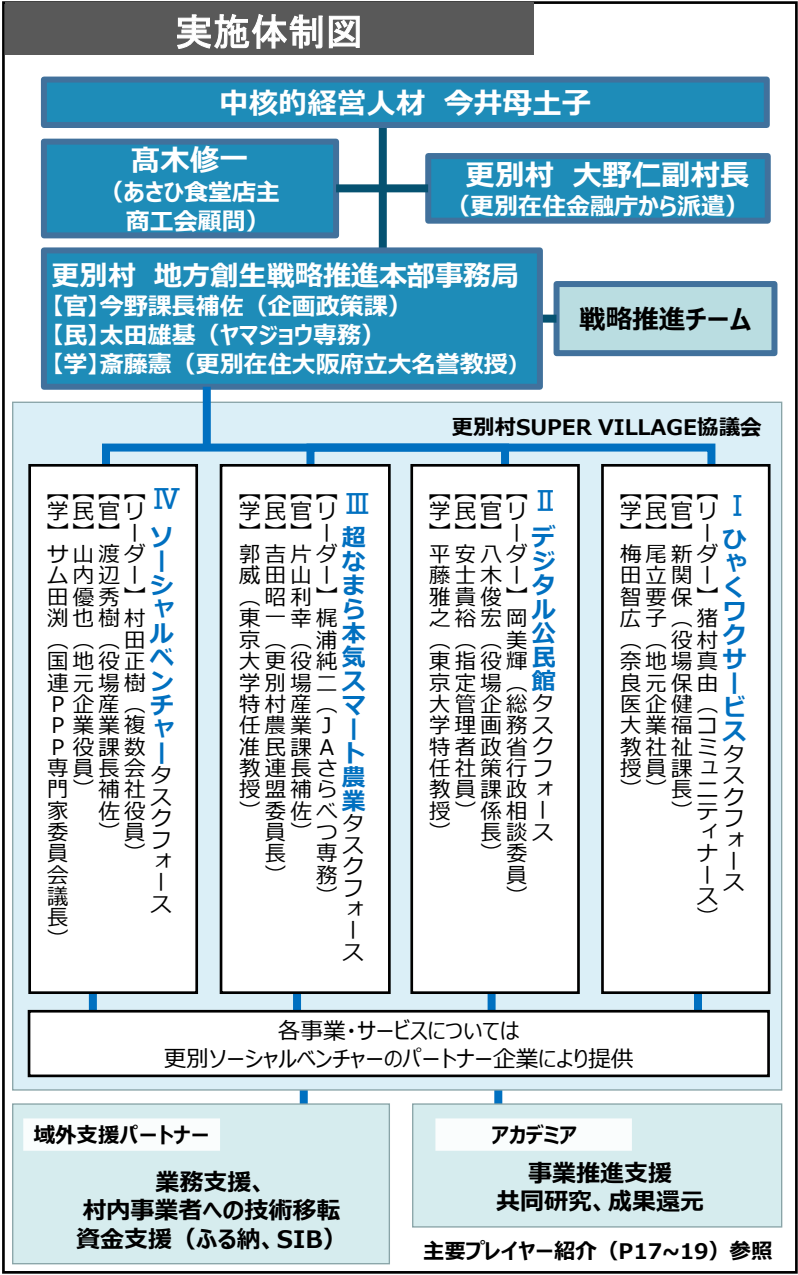
無料スマホ貸出

データ連携基盤

凡例

- 本事業 対象サービス
- ⊙ 本事業 対象外サービス

事業概要(2/2) 【更別村SUPER VILLAGE構想】



政策目的

■ 事業の実施によって解決したい課題又は実現したい地域の将来像

解決したい課題

更別村は農業で生きてきた村です。昔は機械化が未発達で苦労も多かった分、農業を支えるための人と人とのつながりも強かった。しかし、機械化が進んだおかげで、農業生産性は維持できていますが、逆に、子ども達が村から離れ、高齢者世帯が増え、人とのつながりも薄れ、村民の生活への不安はかつてより増えています。

高齢者がカラオケ、料理教室など生きがいを発見でき、好きなことを楽しめるサービスや健康サービスをコミュニティナースの力を活かしデジタルを用いて提供し、生活の不安が解消され、元気で農業も続けられる更別型ベーシックインフラを低価格で提供します。

実現したい地域の将来像

100歳までワクワク 世代を超えてみんなでつながり合う幸せな地域

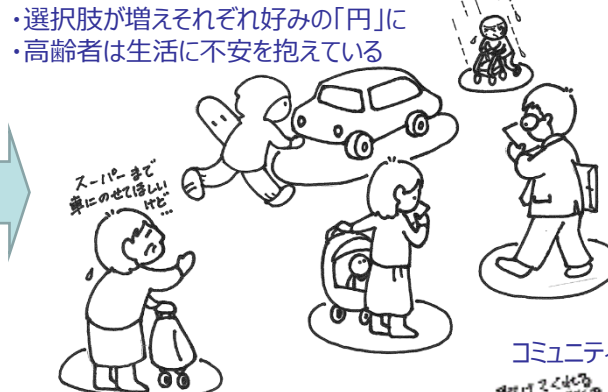
ひとが街にあふれ賑わいがある やりたい仕事があり働ける 郷土愛が生まれノスタルジーが感じられる真の農村田園風景を守る
あこがれる街、最期を迎える聖地 未来へのバトンを渡し続けることが可能となる

過去の更別村



- ・皆がひとつの「円」で共同意識
- ・苦労も多いが人々と密接な繋がり

現在の更別村



- ・選択肢が増えそれぞれ好みの「円」に
- ・高齢者は生活に不安を抱えている

未来の更別村 コミュニティナース



- ・コミュニティナースとデジタルによりそれぞれの「円」を大切にしつつ必要に応じて繋がり生活の不安が解消

取組概要 Ⅲ 超なまら本気スマート農業 1 自動化農業

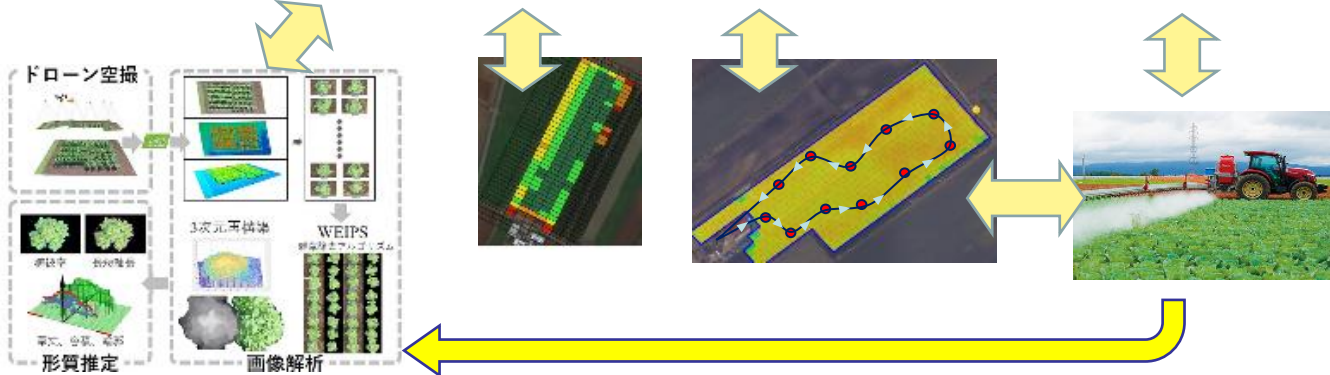
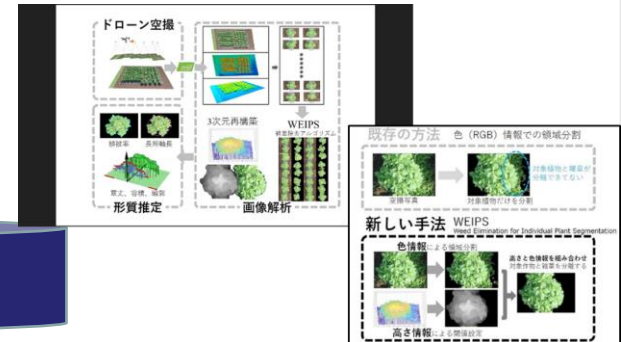
●ドローンによる育成判定とポイント防除 (R4~)

一律での大量散布や農家の勘ではなく、画像から作物の被害状況を把握し、蓄積された共有データから必要な場所と必要な量を算定し、ロボットトラクターのスプレーヤーやドローンによるピンポイント散布を実現します。

画像データから、病虫害の農薬散布場所特定を行い、散布が必要なところと必要な分量を座標等データにしてロボットトラクタや農機に展開します。このため、農薬は必要なところに必要な分だけ、さっと行ってさっと撒いて次の作業に行く。このスピード感を実現し、村内農家に普及していきます。



ブームスプレーヤーでは通常より濃度を2倍濃くして散布量を2分の1に減らしている。散布をコントロールするノズルを使いピンポイント散布する。作業効率を上げるために編み出した方法だ。そして、どこにどのくらい散布するか。その精度が成否を分ける。



西山村長と愉快的なシニアたち

ちょうど5年前に100人強のお年寄りとデジタル化の推進で課題を考えるために毎日ヒアリングをしてお話を聞いてきました。

何が楽しいか？何が辛い？好きなものは何か？嫌いなもの何か？普通の天気の話から普段の生活の話まで様々です。皆さん、笑って話をしてくれましたが、どこか寂しそうに家族の話をしてくれます。旦那さんや奥さんが亡くなった時の話、子どもやお孫さんの話がほとんどです。

その後のコロナ禍の影響から現状はもっと悲惨になっていて、孤立していると感じているおじいちゃんおばあちゃんが沢山いて、引きこもりの高齢者もいるのだと聞きました。親しく付き合う高齢者もいましたので少しだけお話をします。

とあるおばあちゃんは、月に1回ほどですが、孫が来てくれた時、車で一緒に買い物に出て、自分の服を買う。「嬉しくて、いつも孫に沢山、服や食べ物を買ってあげるんだ」と言って笑って私に話をしてくれたおばあちゃんです。

そのおばあちゃんは、「私とご飯食べよ」と誘ってくれて一緒にご飯を食べましたが、年金生活で普段は豆腐と漬物と味噌汁とご飯、贅沢の時だけ焼き魚や刺身を食べるような質素な生活でした。戦後すぐを経験している人は本当に強いんだと感じました。

また、とあるおじいちゃんは、たまに、息子が来ないからと私に言ってきて、「山菜が食べたい、ふきやわらびが食べたい」と言って持ってきて欲しいと言ひ、たまにですが山菜を持っていきました。そのおじいちゃんは、「ありがとう。」っていつも言ってきて家庭菜園の野菜をくれました。

おじいちゃんおばあちゃんは、お話をしている時はニコニコですが、テレビが友達のような様子でした。でも、おばあちゃんはガンで、おじいちゃんは脳梗塞で亡くなりました。いい人生だったのかといえば、いつも「子どもや孫に迷惑をかけたくない、死ぬときはびんびんころりだ」と言って、いつも家族の話をしている。いつも同じような家族の話で強がっていたのだらうと...

きっと、もっと孫たちと会いたかったはずですし、私自身、もう少しお話し相手になってあげたかったと後悔をしています。

私の想いは、デジタルで家族とつながって寂しさを和らげてあげたい。デジタル化をキッカケにして、家族がいなければ行政や地域が仲間としてつながり、楽しく生活ができる環境を作りたい。孫たちと会う機会をデジタルを話題として増やして欲しい。自由に移動ができて外出して好きなことや楽しいことを生きがいとして沢山して欲しい。いつもニコニコして欲しいのです。

最初はデジタルを使いこなせないから家族の方は教えてあげてほしい。デジタルは手段で目的ではなく知らないうちに使っているただの道具です。

デジタルを使いこなすおじいちゃんおばあちゃんがかっこいい。そんなおじいちゃんやおばあちゃんの背中を見て孫たちは憧れる。この更別村は、そんなニコニコおばあちゃんおじいちゃんがいっぱいですよ！と。

更別村はデジタル化で伝えることができるモデルの村になれると思っています。このような村を目指すためには、行政改革が必要ですし、やらなければいけないことが沢山あります。少しずつオープンになり始めたにも関わらず、閉ざしているのは行政のような気がします。

心の奥底で何かうごめく違和感があります。

デジタル化への変化と推進もデータオープン化も歩みを止めることで村民の将来の損失は大きくなるのは明白です。生きていくことは、皆、平等であって、閉ざした行政であってはいけず、恐れず村の未来を創造しなければいけないのです。

デジタル化をキッカケに村民は夢と生きがいを持って前を向いて好きなことができ笑顔が絶えない村になります。そのためには、デジタル基盤は公共財として位置付け村は村民を支え助け合わなければいけないのです。スマホを含む情報インフラは公共財として位置付けます。

この更別村のモデルが横展開できれば未来の村民に貢献できると確信しています。



更別村長 高山 経

どうやって関係を
構築してきたか？

住民の活躍が見える行政へ

実現化への一歩

COMPANY INFO

当社は、北海道・十勝を拠点として活動する環境インテグレーターです。

グループ会社に公共事業を主体とする建設会社と電気工事会社をもち、重機や建設資材をグループで所有していることから、多種多様な事業をワンストップに行うことができるのが強みとなり、機動力及びスピード感のある事業を展開します。

東京都内で活動するIT事業部は、先端技術に磨きをかけ、一線で活躍するIT技術者の育成に力をいれております。北海道と東京のシナジー効果により、様々な分野でソリューションを創出します。

会社概要 アクセス・マップ

企業情報

- 社長挨拶
- 会社概要
- アクセス・マップ
- 取得許認可
- 個人情報保護方針

当社へのお問い合わせ・お見積・その他ご相談はお気軽に。

お問い合わせ

住民の活躍が見える行政へ
実現化への一歩

デジ田(TY担当)
・デジタル教室
・スマートメータ設置

COMPANY OUTLINE

代表者	山内 俊男
設立	1996年5月
本社所在地	北海道河西郡更別村字更別北1線98-1
第2オフィス	北海道河西郡更別村字更別南1線98-77
TECH SHOP / Bobcat ショールーム	北海道河西郡更別村字更別南1線98-2
帯広支店	北海道帯広市大通南11丁目19-1 十勝TYビル(3階総合受付)
東京支店	東京都千代田区丸の内3-4-1新国際ビル8階
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー開発・建設 太陽光発電所保守・運営 酪農家向け環境製造 IT事業(ソフトウェア・ネットワーク) 土木資材販売 廃棄物処理・処分及び収集運搬業 建設事業 ポプキャットの車両販売・整備

地元企業が実行しなければ住民の関心がなく持続可能なものにならない(無関心)

地元企業がデジタル化の恩恵を受けなければいけない(更別経済をよくするために)

更別村のためにやってるんです！！

人が人を呼ぶ仕組み 企業と企業を結ぶ仕組みの構築

そこで、大切なのは、地元企業にないノウハウを持つ大学、首都圏企業が更別村に出店していただき、地元企業として街づくりを実施すること

職員が村の営業マン:

東京大学とのつながりキッカケ

- ・カレー鍋を一緒に食べたことがきっかけです。
 - 通信課題を特区提案してきました。
 - サテライトキャンパスの誘致につながりました。
 - 関連する企業をどんどん紹介されてきました。

コミュニティーナスカンパニーとのつながりキッカケ

- ・スーパーシティ構想策定時における紹介
 - 共助の部分を補う形で構想提案

多くの企業とつながった企業からの紹介や実証事業の場がほとんど
→実証事業が把握できないくらいにBtoBが始まってきた

事業実行の積み重ね

打ち上げ花火の実証から地域実装へのフェーズ
プロトタイプからプロダクトへ、n数を増やすにはちょうどいいサイズ感の更別村

食料自給率10,000%の村へ！

**最先端
大規模農業**

- 最先端技術による大規模農業で、さらに、食料自給率をUP
- 研究開発、ワークアウト、学び直し、ホビーなど、農業に関わるすべてが更別村で実施できる
- 農業のファーストペンギンとなり、更別農業を世界へ！

① スタートアップ農業パッケージ及び大規模経営農業者向け支援プラットフォームの構築

② 農業データ取得及びWAGRI(日)・AGateway(米)と連携した農業データプラットフォームの構築

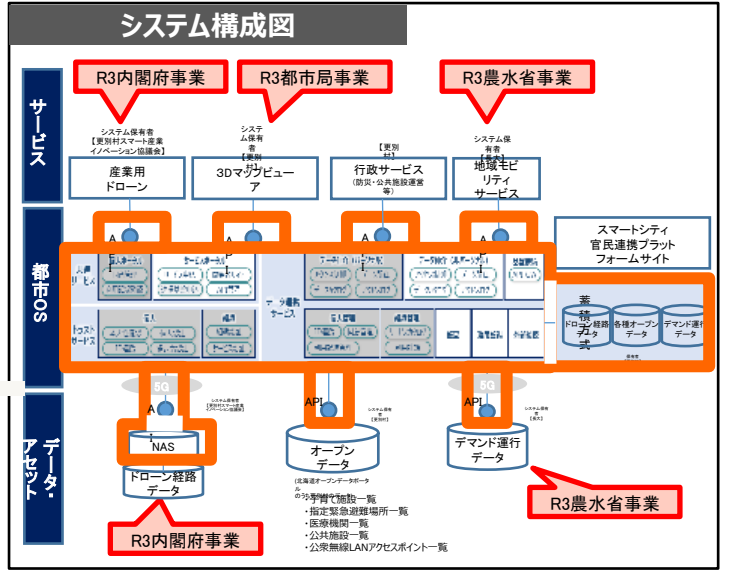
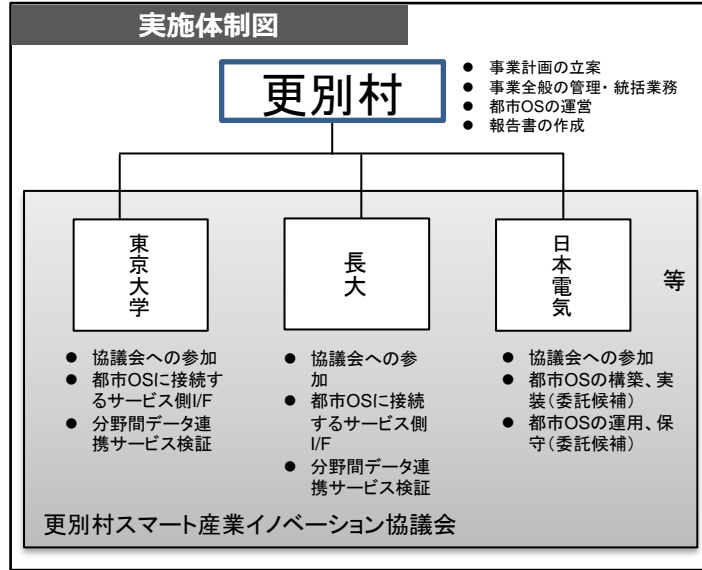
③ データ駆動型サステイナブル農業研究ステーションの構築



さまざまなデータを活用したサービスが生まれないので更別やります！

総務省 本気のDXのためのデータ連携基盤スタート事業2021 1

実施地域	北海道河西郡更別村	実施主体	更別村	事業費	7,635万円
事業概要	更別村は日本一の農業生産量を誇る一方で、(1)人口減少、および若年層流出の防止(2)医療・介護サービスの拡充と社会保障費削減(3)農業人口の維持確保(4)自由な移動手段の確保(5)公共施設更新費用の縮減のような課題をかかえており、「村民のQOL向上」と「農業生産性の向上」を通じて、前述1～5の課題解決のため以下の事業を実施する。				
取組内容	整備する都市OSを介して、更別村で提供される先端的サービス間でのデータ連携を行うとともに、農業等の産業データ及び行政データを将来のデータセンターとしての運用を見据えオープンデータとして事業者等に公開する。				
<p>本事業では、多様なステークホルダーがデータを自由かつ効率的に活用できる都市OSを整備する。本年度においては、都市OSを介して3D都市モデル、地域新MaaSの2つのサービス間でデータ連携を行い、3Dマップ形式でデマンド交通等の状況について、村、村民、事業者へ情報提供を行う。また、産業データ及び行政データを利活用することで、農業用ドローンの運行経路をシミュレーションし住民合意形成のために利用する。</p>					



<取組内容>

道の駅さらべつ
PIPOPA

更別村役場

スマート申請

更別街なか交流館
ma・na・ca

デジタル公民館 おでかけパスポート

公共施設
(プール・体育館)

更別村診療所
山田先生

自転車式
パチンコ台

MBTLink

ピレージ
オペレーションセンター

自動運転・配車

ロボット配送

ひやくワクサービス

福祉の里総合センター

温泉・サウナ

元祖コミュニティナース
生涯活躍のまちコーディネーター
「ロビーはごちゃまぜ交流の場」
JOCA 石井さん

はつらつ!お達者!
▼コミュニティナース

カラオケ KUWANTech

▼コミュニティナース

ワクワク!おもいで!

高木店主
あさひ食堂

今村さん
コミュニティナース

西山村長
コミュニティナース

猪村さん
コミュニティナース

大野副村長

コミュニティナースカンパニー
矢田社長
ウーマン・オブ・ザ・イヤー2018
「超高齢化社会の希望賞」受賞

がっぼり農業

十勝スピードウェイ MSF

ドライビングスクール

コミュニティナース

農業自動化
JAさらべつ

農機地域予約
運行型タクシー

アグリDX
東京大学
The University of Tokyo

東京大学
The University of Tokyo

サテライトキャンパス

ロードGX
公益社団法人
青年海外協力協会

大豆ミート工場
(A型障がい者就労施設)

【農水省補助事業】

サテライトオフィス

サテライトキャンパス

京都大学医学部
サテライトキャンパス

【デジタル田園都市国家
構想推進交付金
(地方創生テレワークタイプ)】

東京大学
The University of Tokyo

サテライトキャンパス

ロードGX
公益社団法人
青年海外協力協会

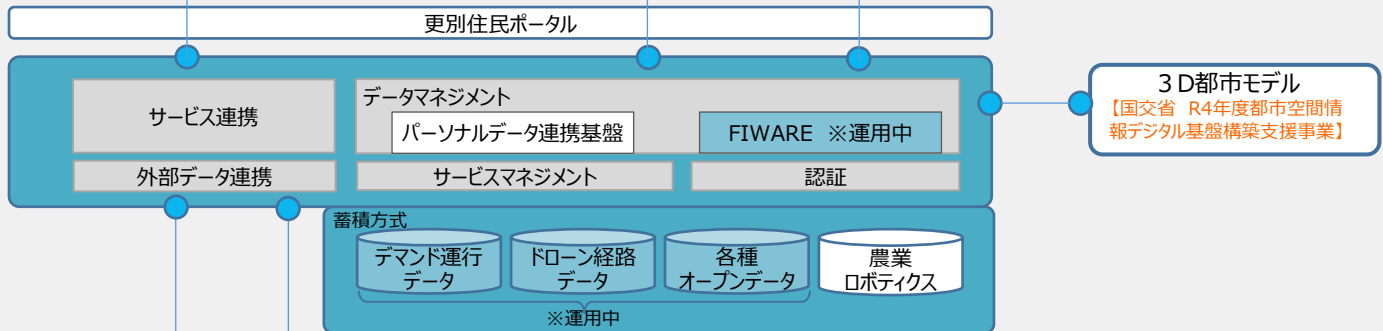
大豆ミート工場
(A型障がい者就労施設)

【農水省補助事業】

凡例

- 本事業対象サービス
- 本事業対象外サービス

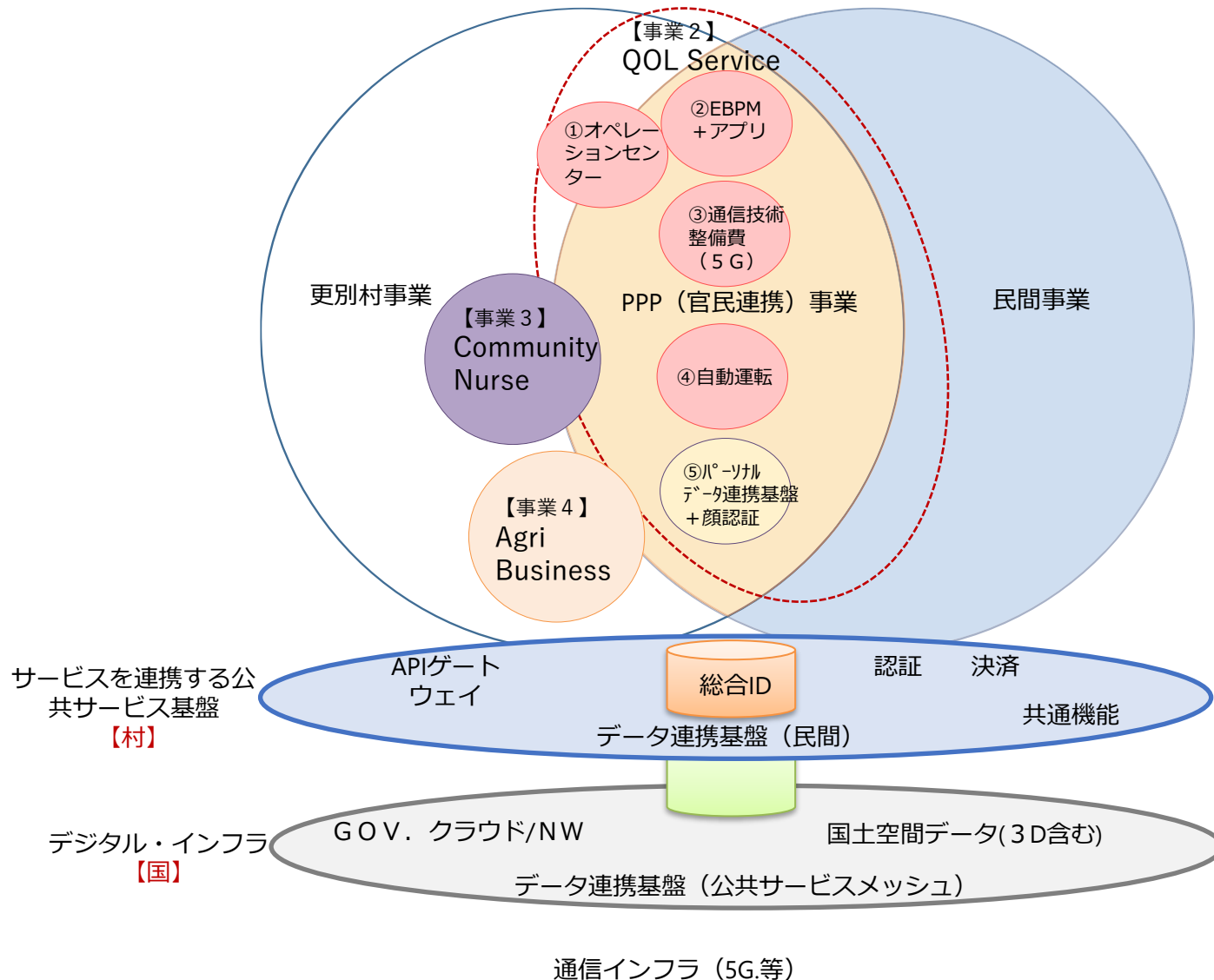
<データ連携基盤/都市OS層>



<共助モデル更別フリーWi-Fi/スマートメータ見守り>



更別村役場は行政サービスのプロ集団であって 準公共サービスのプロではない



IT革命の確変で
データ活用の時代へ

想像以上に
急速な変化が起きている



1941:馬での農業



1953:トラクター



1965:道路整備(車社会)



2020:ロボトラ

僅か13年で自動車の社会に

iPhoneが発売されて約15年

誰も想像できない



→未来を想像する必要がある
遅れると絶対値で取り返せないリスク大

次は？

なぜ、更別村はデジタル化なのか？

**変革機会を逃がすと生産力維持が困難
スピード感が大事なのです。**

理由：大都市に比べ人材が少ない更別村は、早めに企業や人材確保をしなければ住民サービスの提供が困難になる危機感

データ化で住みよさ、住環境が評価され優劣がつく。データの可視化、統計活用で事業最適化や人口動態にあった行財政運営へシフト（行財政運営にメスが入れやすい）

例：1台通行に係る道路管理コスト、施設利用者の一人あたりの管理コストなどで事業評価される）

ブルシットジョブは残るのか？

新たな技術で需要と供給、収支バランスが崩れる

（例：人とロボット導入コスト比較⇒経済合理性追求）

協調領域から競争領域へシフトするといつの間にか淘汰

（公衆電話は見当たらなくなりました、無料アプリは使い捨て状態）

とにかく、確変が起きています。

今の説明も古いものです。(想像力旺盛)

自ら学び、実行するスピード

価値は、産官学のチーム力

とにかくチーム、チーム、チームでいく
(行政と企業と大学等との連携も価値が高い)

失敗は、称賛に値する。次は失敗しないので。

思い切って、実行しましょう。

できれば、一緒に・・・。

皆様、ぜひ北海道更別村に来てくださいね

ご清聴ありがとうございました

